

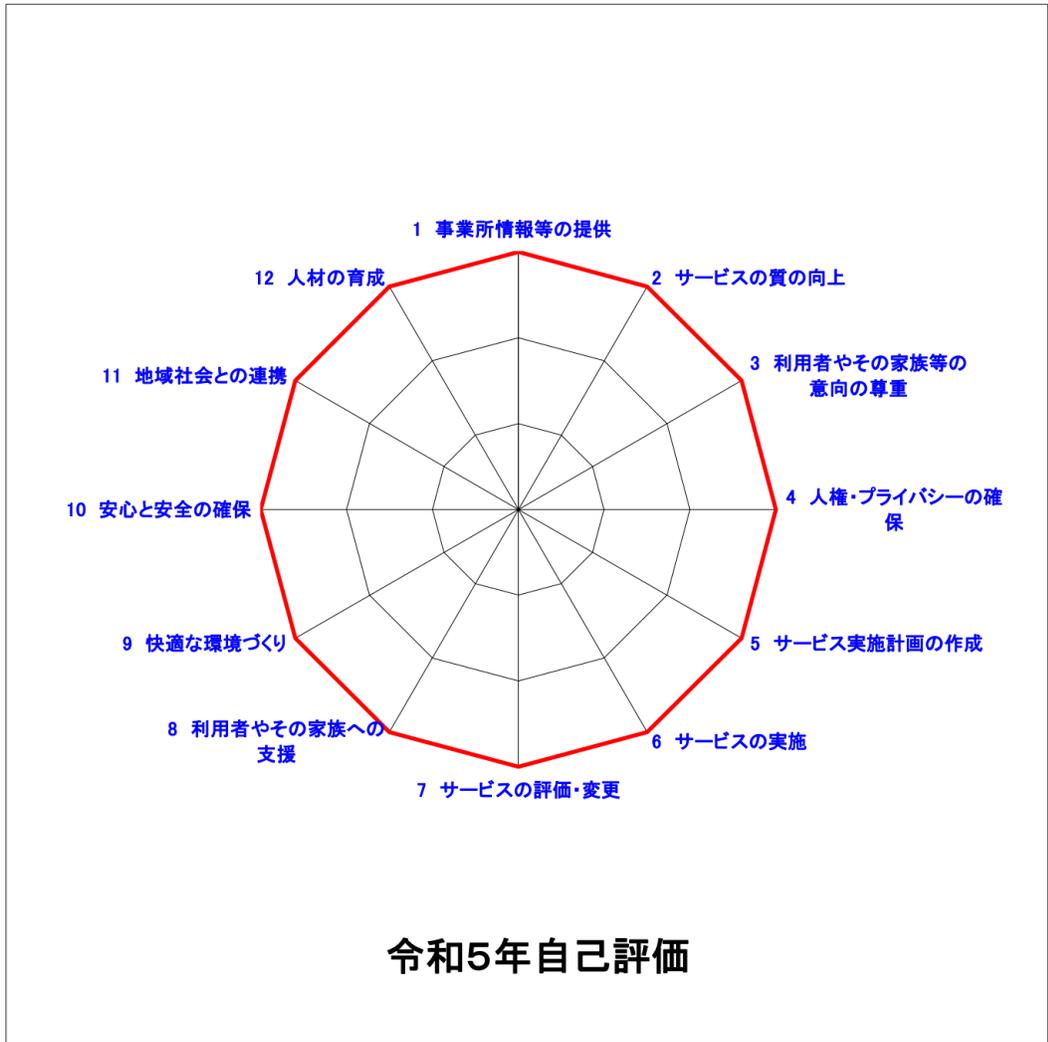


小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台

(事業者番号: 1292600051)

小規模多機能型居宅介護

事業者名 社会福祉法人 翠耀会
事業所名 小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台
サービス名 小規模多機能型居宅介護
評価委員構成 施設長 日高 和枝 管理者 恩房 憲克 介護職員 上岡 順子 三森 絵里子 計画作成担当者 玉井 庸弘 花島 京子 猪俣 ミサ子Ns
評価手順 令和5年12月20日 各職員に評価依頼 令和6年1月9日 自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和6年1月9日 自己評価委員会開催
評価責任者 役職名 理事
評価責任者 氏名 日高 和枝



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 法人ホームページでの情報公開及び法人の広報誌(年4回発行)、事業所の新聞の発行を毎月行なっている。			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記 職員から広く意見を収集する場として、ユニット会議を開催し、意見を出しやすい環境を整え、意見交換・話し合いを充実させている。収集した内容は、多職種会議や多機能全体会議にて追加検討などを行っている。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記			
サービス内容の決定については、複数提案(わかりやすい説明)のうえ、利用者・家族の選択・決定(意向を反映)にて合意形成を実施。行事・クラブ活動は、利用者の意見を取り入れ、内容を考えたものを提供し、選択(自己決定)して頂いている。			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記			
人権やプライバシーの確保、身体拘束、個人情報の保護について、研修や会議の場で話し合い、環境や業務内容、対応を工夫し、保護を徹底している。			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記			
利用者一人一人の状態や意向の変化に合わせて、課題に基づいた目標設定やサービス計画に則した支援を提供している。支援内容については職員間で情報共有を行い、各会議で協議と決定(支援内容や目標設定)を行っている。			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記			
利用者の心身状態や意向について、LINEWORKSを活用して、関係職員と即時の情報共有、対応方法などの検討を行ない、サービス提供につなげている。ユニット会議や多職種会議、小規模会議で定期的に協議・決定を行っている。			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			
利用者一人ひとりの状態や意向、サービス実施状況をチームで共有し、内容の見直しを随時実施している。利用者・家族に説明し、同意を得たうえで、サービス内容を変更し、提供・評価(モニタリング)・関係者間での共有を行っている。			

サービスの適切な実施

8 利用者やその家族等への支援

サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
余暇活動や生きがいづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C

「利用者やその家族への支援」に関する特記

利用者の状況については、日々のサービス記録や小規模だよりだけでなく、送迎など家族と顔を合わせた時に、直接お伝えしている。利用者や家族からの相談に即時に対応している。

9 快適な環境づくり

快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C

「快適な環境づくり」に関する特記

限られた設備の中で快適に過ごしていただけるよう、配置などの工夫を行っている。パーテーション設置など、プライバシーに配慮している。飾りや音楽、献立などで、季節を感じながら食事を楽しんで頂けるようにしている。

10 安心と安全の確保

事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C

「安心と安全の確保」に関する特記

事故・災害・衛生管理に関する各マニュアルを作成し、新入職員にも周知。ヒヤリハット・事故報告書の内容を職員間で共有し、多職種会議や小規模会議、リスクマネジメント委員会で、再発防止策や対応方法(支援内容)等を協議・決定している。衛生管理についても、出勤職員の体調は毎日チェック表で確認しています。感染症対策を含めた研修を内部研修でも行なうようにしています。

地域等との連携

11 地域社会との連携

事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C

「地域社会との連携」に関する特記

共生café・ふれあいフェスタ・福祉授業・防災訓練など、地域の学校や団体、ボランティアなどと協働した取り組みを行ない、地域における事業所の役割を果たすための連携と協働を行っている。

12 人材の育成

実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
---------------------	---	---	---

「人材の育成」に関する特記

複数の学校や教育機関より実習生を受け入れている。実習生に対して、オリエンテーションを行ない、現場職員にも指導内容や目標などを周知したうえで、受け入れ体制の整備できている。

総評

小規模多機能の利点である、状態・状況・意向などの変化に対し、「柔軟かつ臨機応変なサービス提供」と「利用者一人ひとりに合わせた支援の提供」に注力している。その実現に向け、本人・家族・多職種・地域資源と連携し、サービスの質の向上のため、取り組みを継続していく。また、地域に必要とされるサービス拠点(事業所)として、連携をはかりながら地域と協働したイベントや行事、共生café ふらっとホーム・学童保育、小中学校との交流活動などを継続して展開していく。